

1. プログラム名	THIRD プログラム [インターンシップ]
2. 担当教員	近藤 祐一
3. 実習地	タイ
4. 開講年度	2019 年
5. 開講時期	秋semester
6. 科目	インターンシップ
7. 開講言語	日本語
8. 単位数	2 単位 上限登録単位数に含む。
9. 科目概要	バンコクにおいて活躍する日本人起業家のもとで、世界で働くことの実際に触れる。そこからこれからの学業、課外活動について考え直し、将来のキャリアについて具体的にどのような準備が必要なのかを考察し、さらに計画を立てていく。
10. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の課題（派遣ごとに設定されるテーマ）について講義による学問的なアプローチと実習を関連づけることができる。 ・アジア太平洋の文化社会について学部での学習事項と関連づけることができる。 ・テーマに沿った現地での活動に必要な知識や語学を身につけ、それを将来的に活かす道筋を見つけることができる。 ・世界を変えるチェンジエージェントとしての基本的な知識・態度・スキルを身につける。
11. 授業方法	タイという異文化において、大学生文化とは違う社会人の文化と接触し対応するという二重の異文化間コミュニケーションの中で、日々行動し、それを振り返ることにより到達目標に達する。事前・事後授業はワークショップ方式を用いる。
12. スケジュール	<p>事前：タイにおける日本人起業家の概要、インターンシップに対する諸注意</p> <p>インターンシップ：日々派遣先においてインターンシップを行う。</p> <p>振り返り授業：毎週末に振り返り授業を行い、自己の学びの整理をし、また他の学生の学びから学ぶ</p> <p>事後授業：インターンシップによる学びをまとめ、かつ帰国後や将来のキャリア準備についてのプレゼンテーションを行う。</p>
13. 成績評価方法	<p>インターンシップ科目については以下の評価軸によって P/F 評価を行う。</p> <p>事前授業・毎週の振り返り授業・事後授業への出席 20%</p> <p>毎日の目標ルーブリックに基づいた振り返り記入 30%</p> <p>最終プレゼンテーションおよびレポート（5000 字程度） 50%</p>
14. 学生への要望事項	インターンシップという機会をどのように帰国後の APU での学修や、卒業後のキャリア形成に関連付けるのかを常に考え、振り返りのジャーナルを付けておくことが望まれる。
15. 教科書	
16. 参考文献	
17. 上記以外	

18. その他

- 募集人数：20
- 最少実施人数：10
- 派遣地域安全情報：レベル 1